

2019年9月期 第1四半期決算概要 (2018年10月1日～2018年12月31日)

シミックホールディングス株式会社
2019年2月1日

事業セグメントとグループ各社

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2018年12月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援、分析化学サービス及び医療、製薬業界向けBPO・人材サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミック・シフトゼロ(株) CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC Asia-Pacific (Hong Kong) Limited CMIC ASIA-PACIFIC (PHILIPPINES), INC. CMIC (Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC (Beijing) Co., Ltd. CMIC DATA SCIENCE VIETNAM COMPANY LIMITED シミックファーマサイエンス(株) CMIC, INC. CMIC (Suzhou) Pharmaceutical Technology Co., Ltd. シミックキャリア(株)
CDMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで医薬品製剤開発・製造支援に係る業務	シミックCMO(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックJSRバイオロジックス(株) ※
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) (株)マックヤンエムディエス ※
ヘルスケア事業	SMO（治験施設支援機関）業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	サイトサポート・インスティテュート(株) シミックヘルスケア(株) CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED
IPM事業	グループが保有する製造販売業等の許認可（知的財産）とバリューチェーンを組み合わせた新たなビジネスソリューションを製薬企業等に提供する事業	シミックホールディングス(株) シミックCMO(株) (株)オーファンパシフィック

当期の主な取組み

**“Project Phoenix ～持続的成長を実現するための取組み～”を推進するとともに
新“中期計画（2019-2021）”をスタート**

重点取組事項

- 独自の事業モデル“PVCモデル”の加速
- グローバル化の促進
- ヘルスケアビジネスの創出

CRO事業

- ▶ 医療データベースを活用した製造販売後調査（PMS）・臨床研究の支援強化
- ▶ バイオ医薬品や再生医療等製品など先端領域への取組み促進
- ▶ ソフィオンバイオサイエンスとの提携による安全性薬理評価サービスの拡充

CDMO事業

- ▶ 足利工場に高薬理活性製剤対応の注射剤棟を立ち上げ、治験薬の生産を開始
- ▶ アステラス ファーマ テックと西根工場譲受けに関する株式譲渡契約を締結（譲受予定日 2019/6/1）

CSO事業

- ▶ 民間企業で初となるメディカルアフェアーズ人材の養成講座「MAアカデミー」を開講
- ▶ メディカルアフェアーズ分野のサービス拡大を図る

ヘルスケア事業

- ▶ SMO業務におけるがん領域の対応強化
- ▶ ヘルスケアポータルサイト「HelC+」（ヘルシー）を活用した患者サービスの強化

IPM事業

- ▶ IPMプラットフォーム提供による海外製薬企業の日本市場進出支援

連結損益計算書（要約）

	2018/1Q		2019/1Q		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	16,637	100.0	17,399	100.0	761	4.6
営業利益	1,013	6.1	965	5.5	△48	△4.8
経常利益	1,035	6.2	861	5.0	△173	△16.8
親会社株主に帰属 する四半期純利益	544	3.3	536	3.1	△7	△1.4
1株当たり 四半期純利益	29円09銭		28円89銭			

売上高は、主にCRO事業が伸長したことにより前年同期を上回る。営業利益は、CDMO事業の減益等により前年同期を下回ったが、概ね計画通り進捗。

営業外損益・特別損益・税金の内訳

(百万円)

	2018/1Q	2019/1Q
営業外収益内訳	59	32
受取利息	1	1
持分法投資利益	16	—
為替差益	26	—
受取賃貸料	2	5
還付消費税等	3	4
受取保険金	—	14
その他	8	6
営業外費用内訳	37	135
支払利息	28	32
持分法投資損失	—	35
為替差損	—	56
その他	9	11

	2018/1Q	2019/1Q
特別利益内訳	—	6
固定資産売却益	—	6
特別損失内訳	18	47
固定資産除却損	13	47
投資有価証券評価損	4	—
税金費用	475	551
法人税等	77	36
法人税等調整額	398	514

セグメント別売上高および営業利益

		2018/1Q (百万円)	2019/1Q (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	9,012	9,674	662	7.3
	営業利益	1,812	2,121	309	17.0
C D M O 事業	売上高	3,586	3,384	△202	△5.6
	営業利益	△184	△377	△193	-
C S O 事業	売上高	1,675	1,782	107	6.4
	営業利益	56	△44	△100	-
ヘルスケア事業	売上高	1,739	1,699	△39	△2.3
	営業利益	149	106	△42	△28.6
I P M 事業	売上高	746	954	208	27.9
	営業利益	△65	△12	52	-
調 整 額	売上高	△122	△96	25	-
	営業利益	△755	△828	△73	-
合 計	売上高	16,637	17,399	761	4.6
	営業利益	1,013	965	△48	△4.8

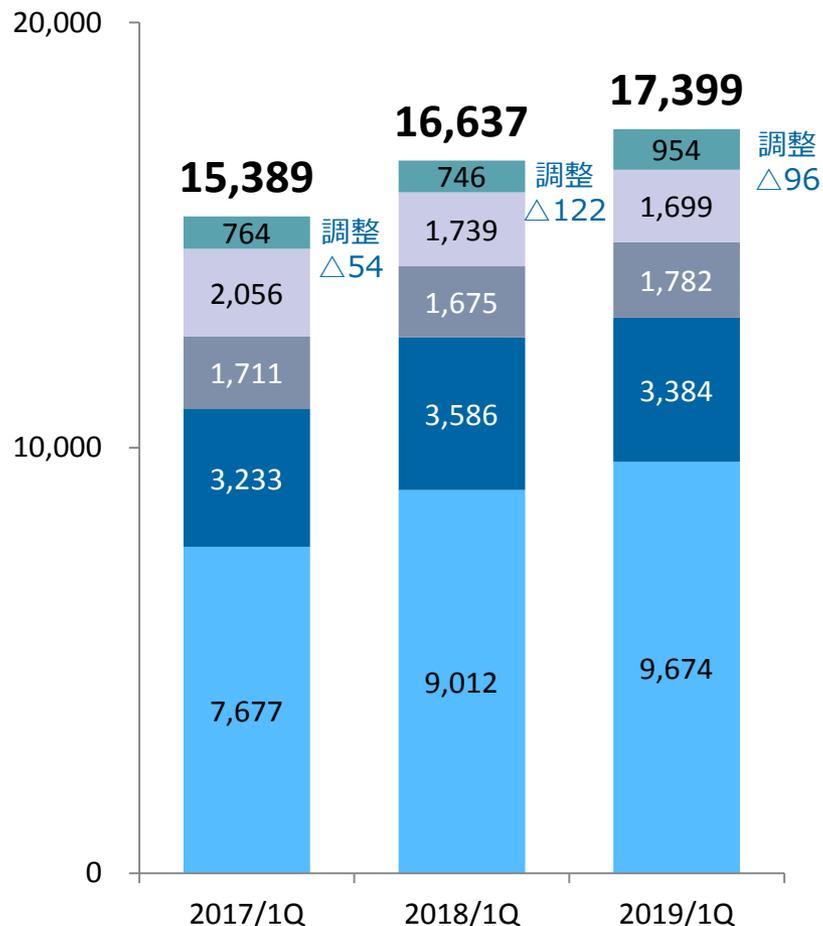
受注高・受注残高

	2018/1Q		2019/1Q			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	10,479	56,440	8,320	△20.6	54,520	△3.4
C D M O 事業	3,523	3,582	4,195	19.1	4,657	30.0
C S O 事業	1,663	3,084	2,595	56.0	4,075	32.1
ヘルスケア事業	1,606	9,054	2,300	43.2	10,248	13.2
合 計	17,272	72,161	17,411	0.8	73,501	1.9

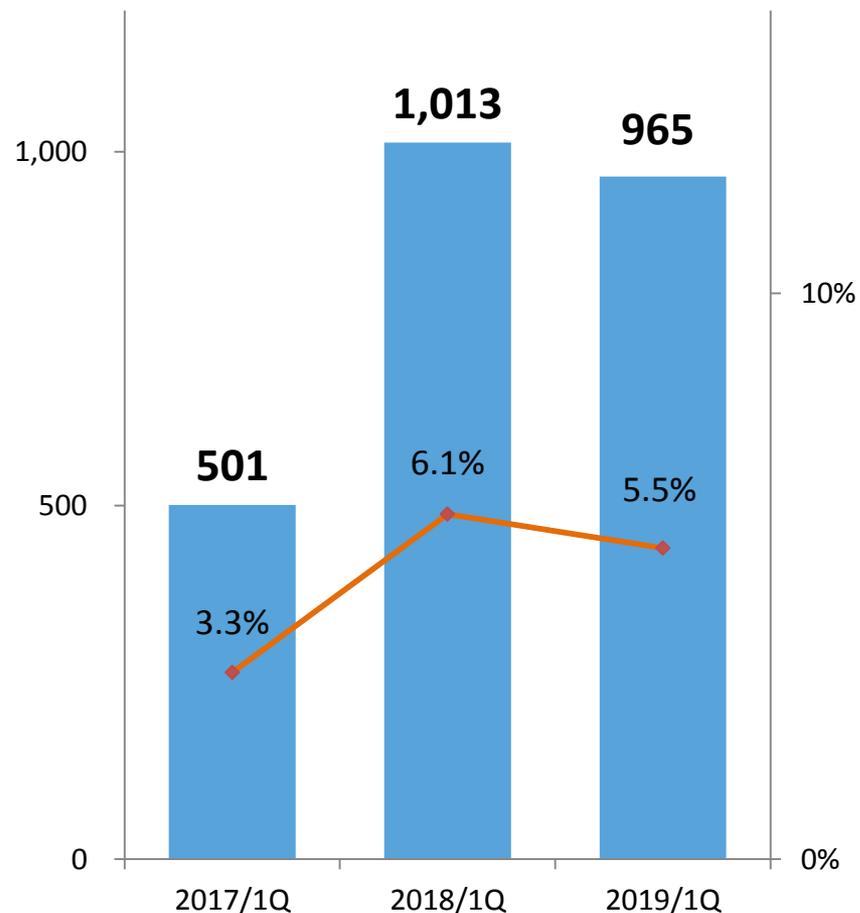
- CROの受注高は前年同期の大型案件獲得の反動による減少であり、引合いは引き続き堅調。CSO、ヘルスケアの受注高が前年同期を大幅に上回る。
- CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。
- IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注実績から除外している。

連結売上高および営業利益の推移

【売上高 (百万円)】



【営業利益 (百万円)】

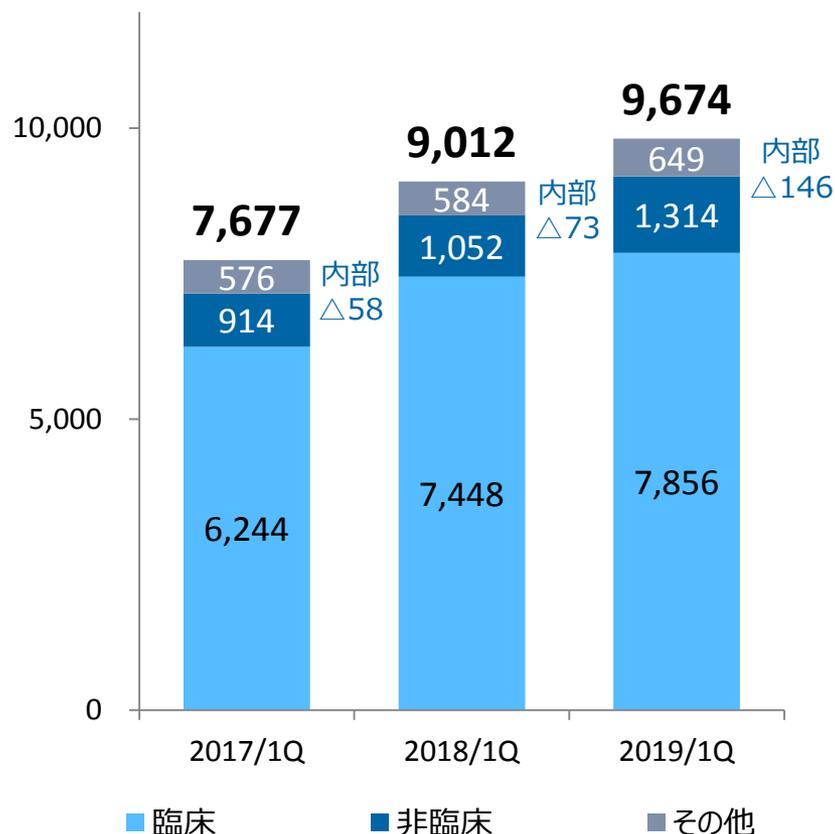


■ CRO事業 ■ CDMO事業 ■ CSO事業 ■ ヘルスケア事業 ■ IPM事業

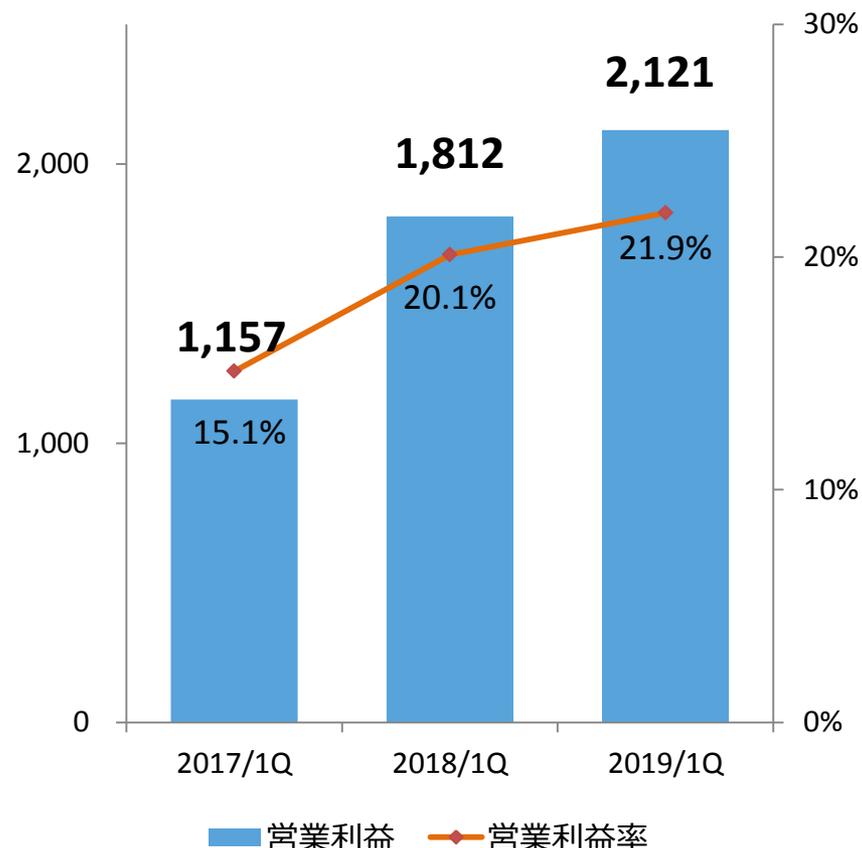
■ 営業利益 ◆ 営業利益率

医薬品開発支援（CRO）事業

【売上高（百万円）】



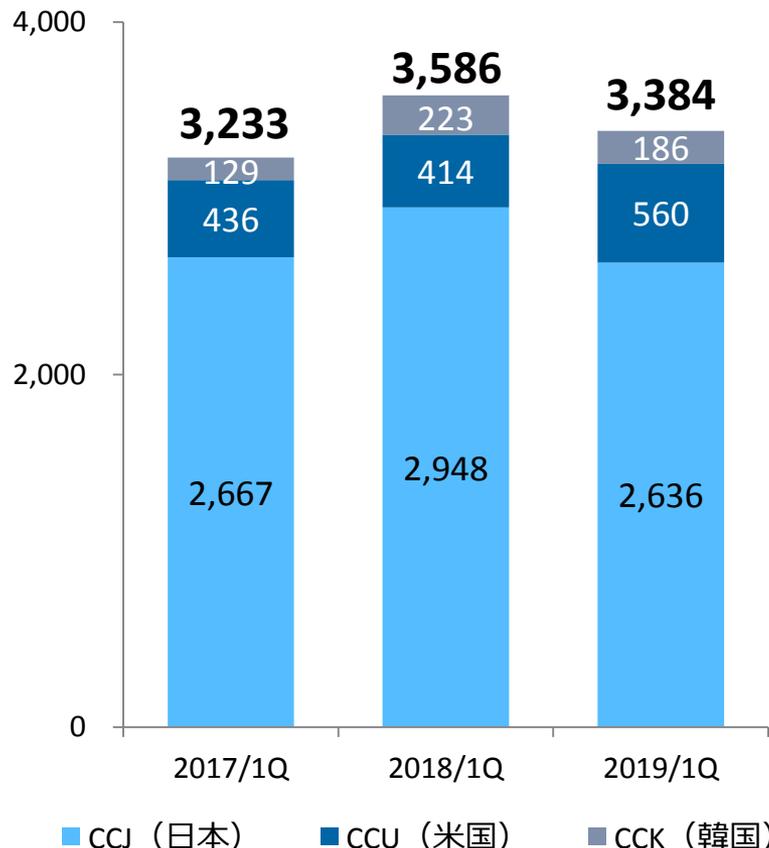
【営業利益（百万円）】



海外企業の日本市場参入や異業種のヘルスケア市場参入支援、バイオ医薬品や再生医療等製品など高度化する開発ニーズへの対応を促進。新規受注及び既存案件が堅調に進捗したことにより、売上高及び営業利益が前年同期を上回る。

医薬品製剤開発・製造支援（CDMO）事業

【売上高（百万円）】



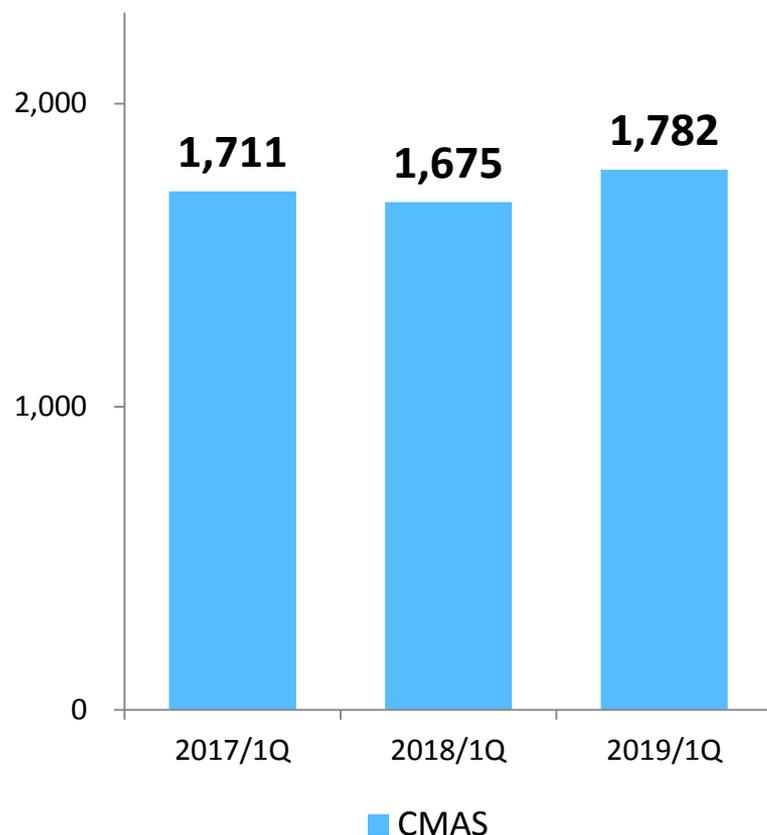
【営業利益（百万円）】



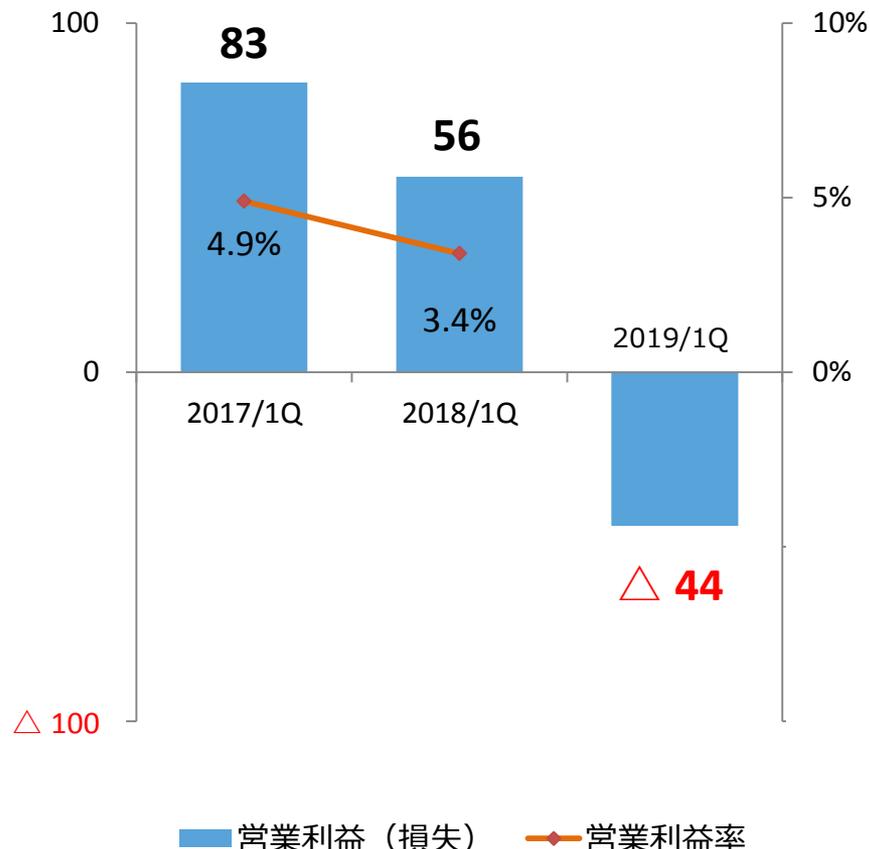
足利工場に注射剤棟を立ち上げ、治験薬の生産を開始。アステラス ファーマ テックと西根工場の譲受けに関する株式譲渡契約を締結、固形剤の生産対応強化を図る。売上高は納期変更等により前年同期を下回る。新注射剤棟の商用生産開始に向けた費用の発生、減価償却費の増加等により営業損失を計上。

医薬品営業支援（CSO）事業

【売上高（百万円）】



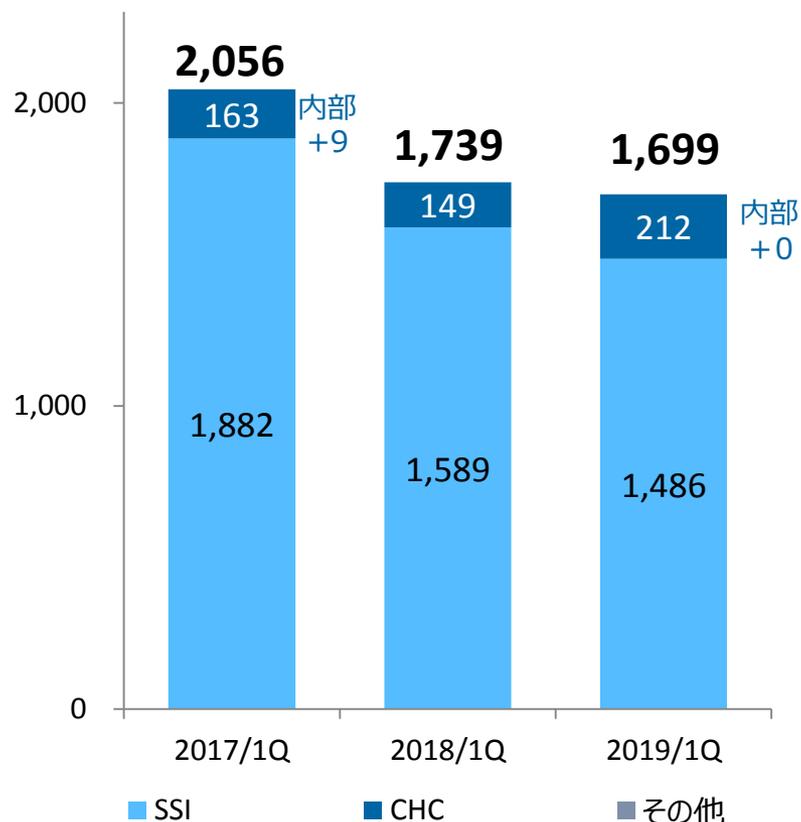
【営業利益（百万円）】



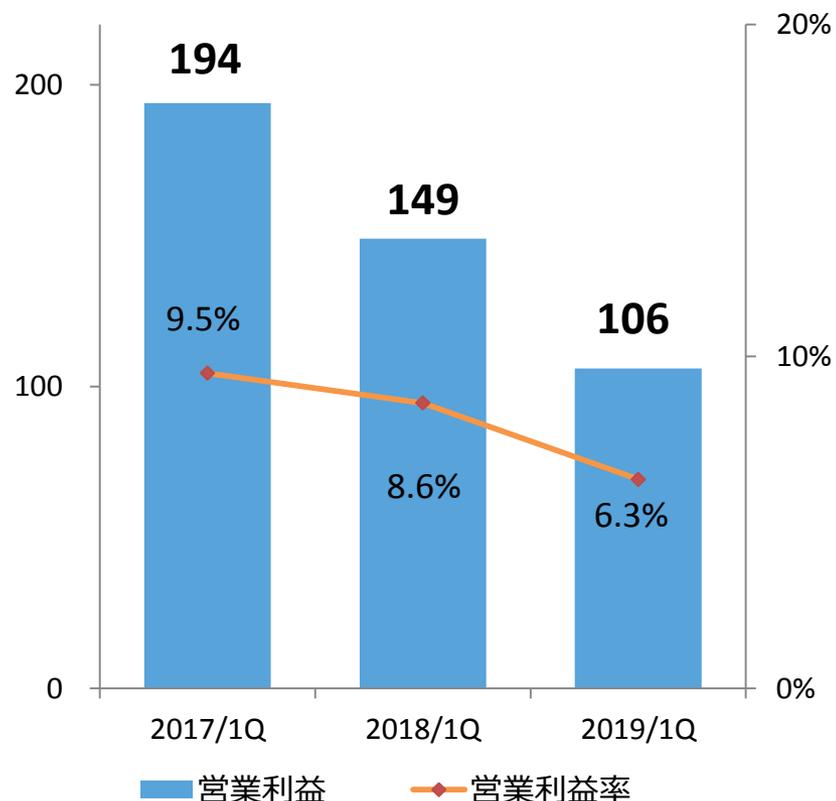
メディカルアフェアーズ関連業務の営業活動を強化。売上高は既存案件が堅調に進捗したことにより前年同期を上回る。MR派遣業務の需要の大幅増加により、新規受託案件に要する人材採用等の先行的な費用が発生し、営業損失を計上。

ヘルスケア事業

【売上高（百万円）】



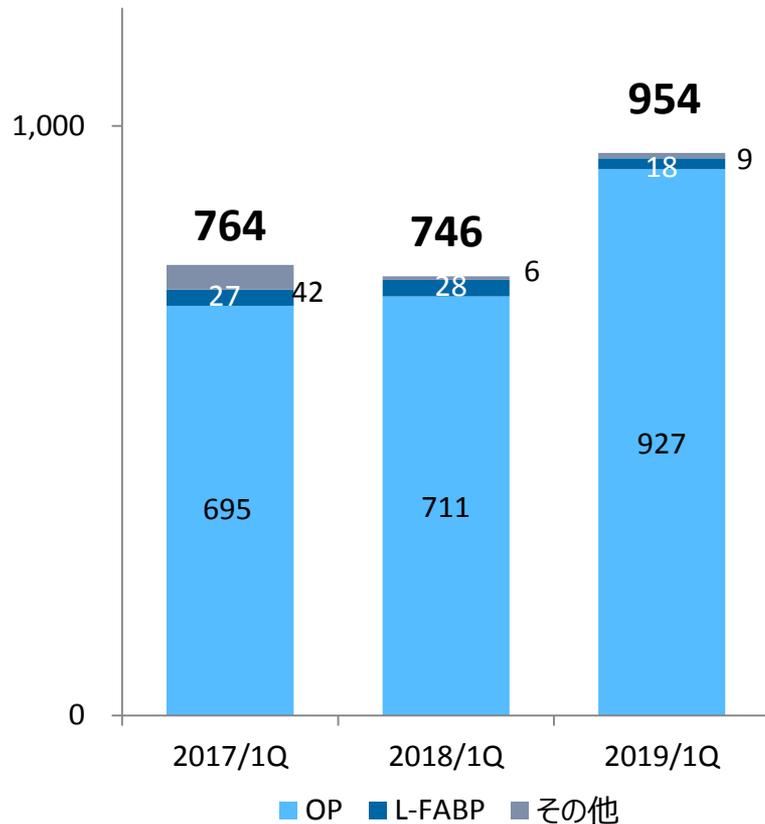
【営業利益（百万円）】



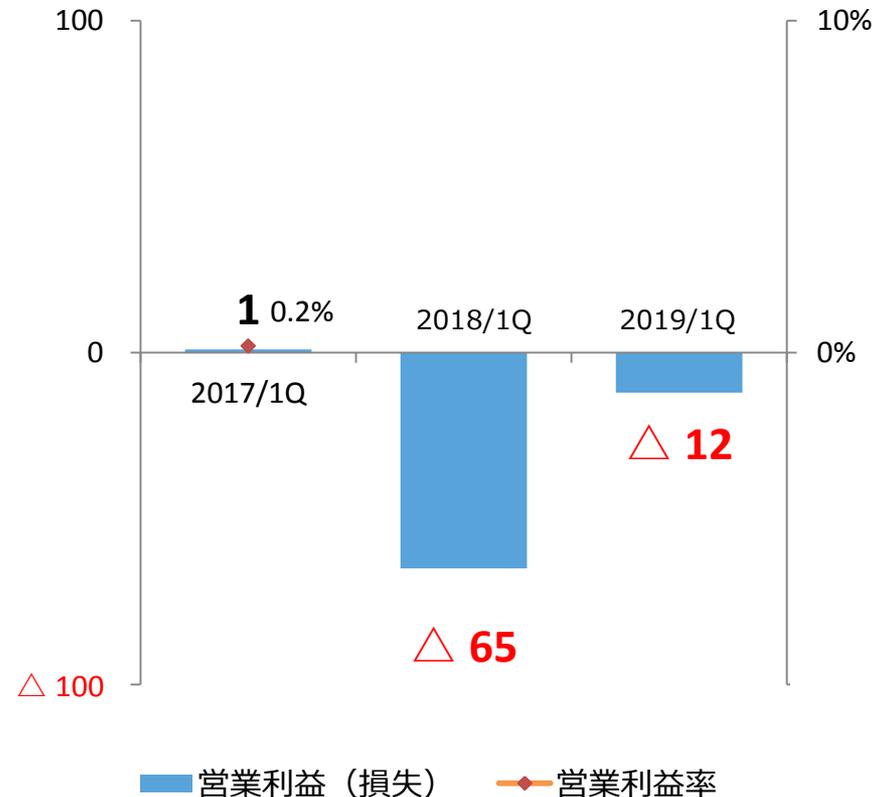
SMO業務におけるがん領域の対応を強化。ポータルサイト「HelC+」を活用した治験情報提供など患者向けサービスの強化に取り組む。売上高及び営業利益は、SMO業務における受託試験の中止や一部中断等により、前年同期を下回る。

Innovative Pharma Model (IPM) 事業

【 売上高 (百万円) 】



【 営業利益 (百万円) 】

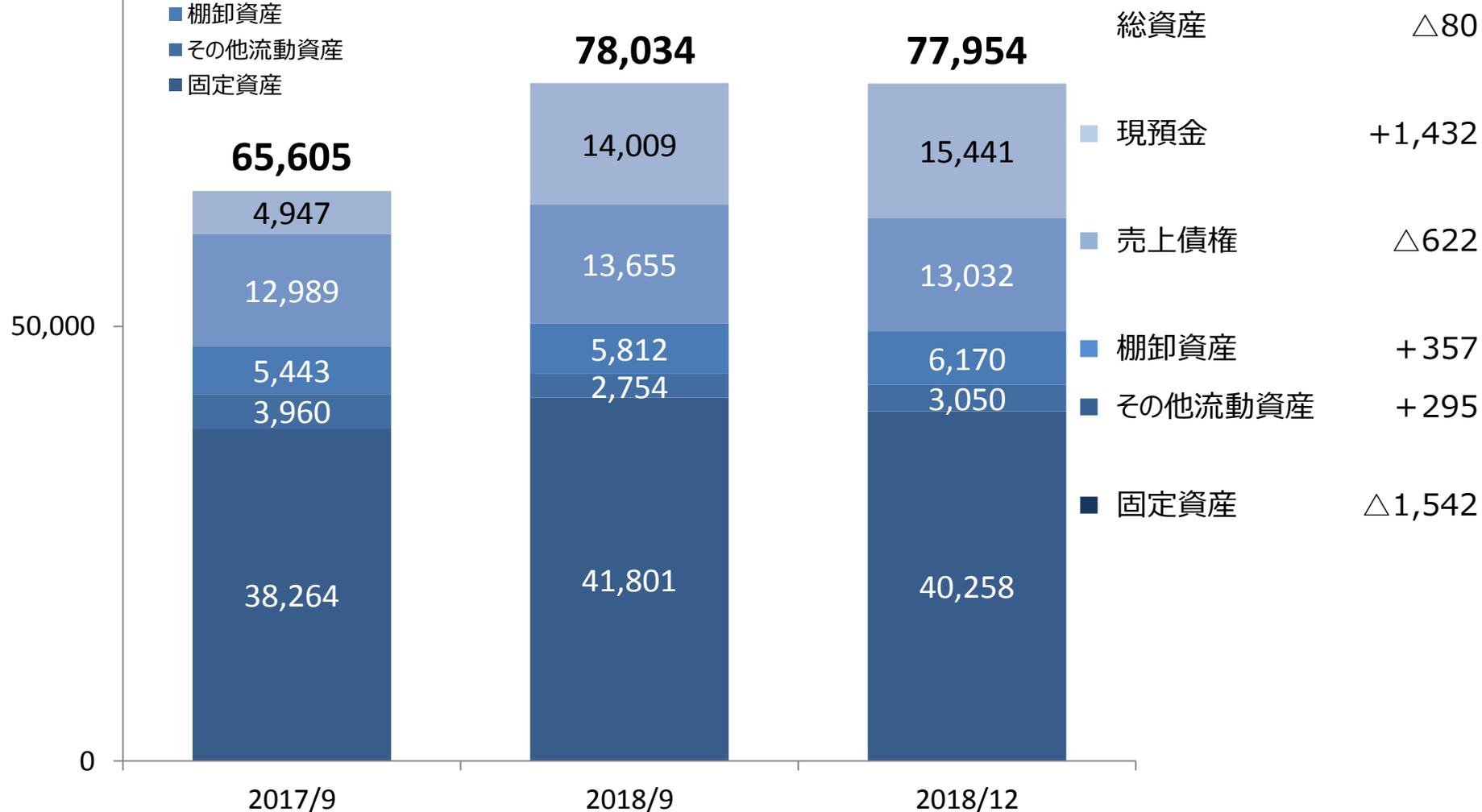


自社開発品を含むオーファンドラッグ等の販売、腎疾患バイオマーカー（L-FABP）の販路拡大及びプロモーションを強化。売上高はオーファンドラッグの販売増加等により前年同期を上回る。黒字化に向けて、新しいビジネスソリューション提供による事業規模拡大に引き続き取り組む。

連結貸借対照表 (資産の部)

(百万円)

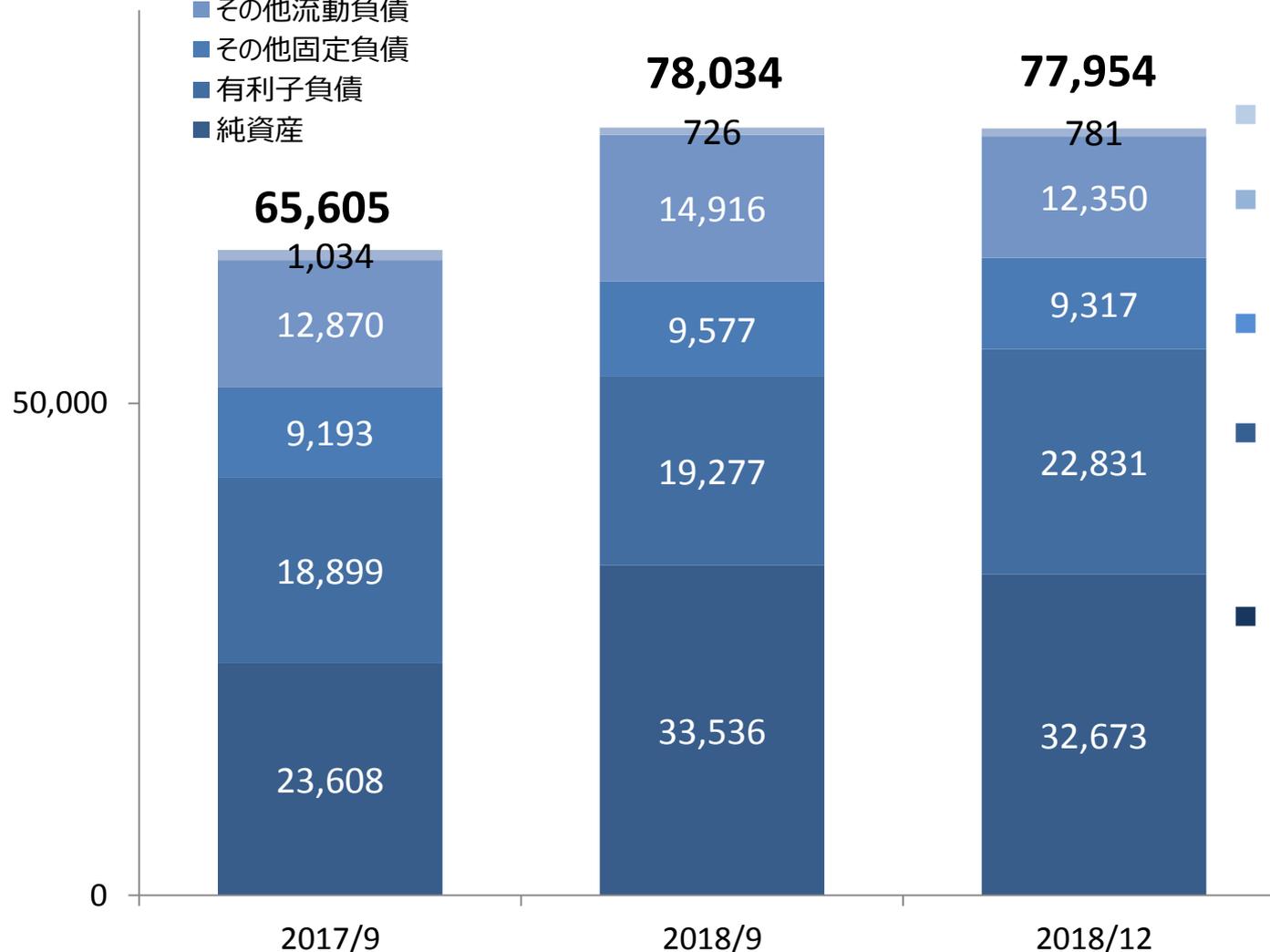
- 現預金
- 売上債権
- 棚卸資産
- その他流動資産
- 固定資産



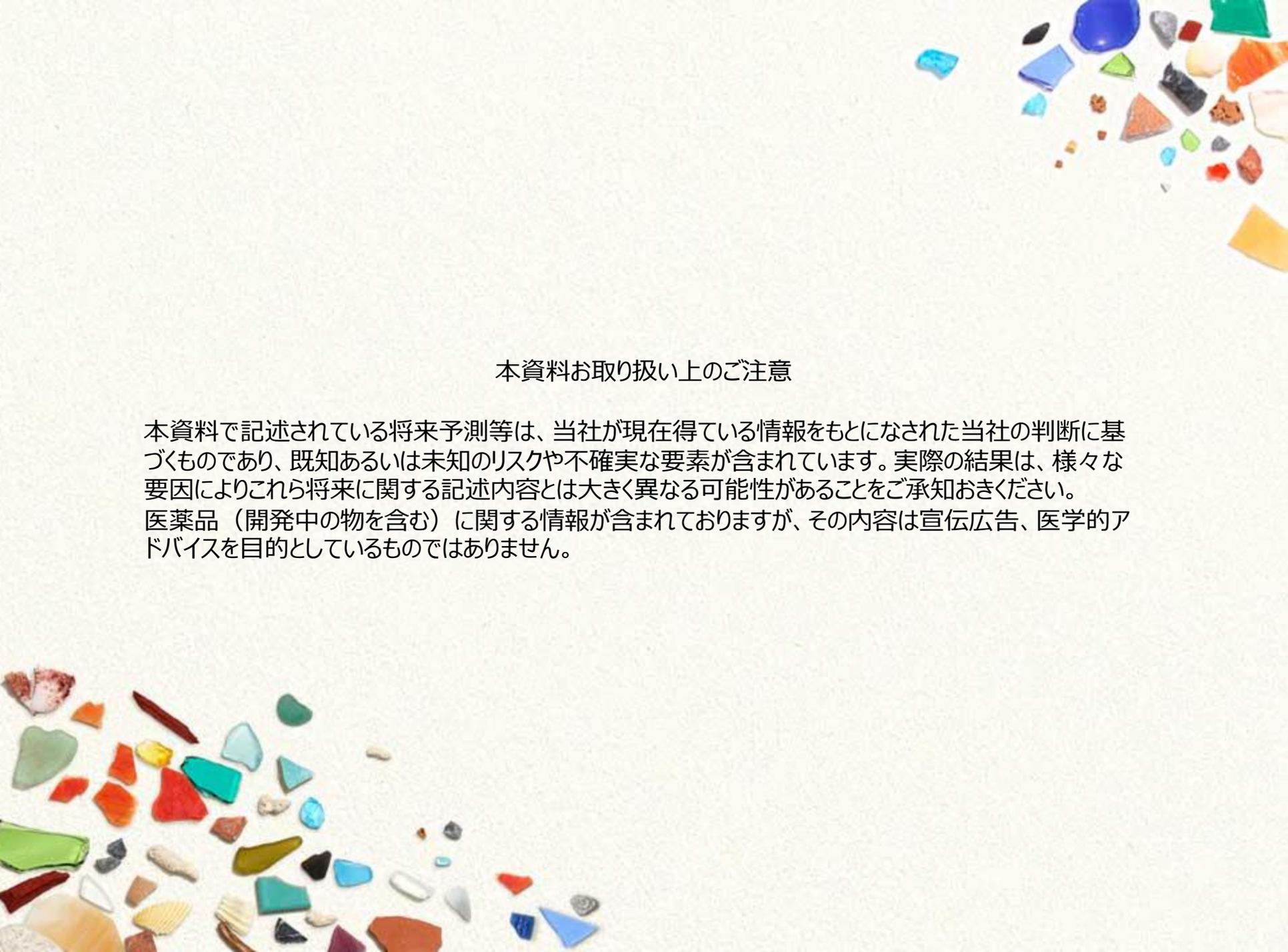
連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）

(百万円)

- 仕入債務
- その他流動負債
- その他固定負債
- 有利子負債
- 純資産



- 仕入債務 +55
- その他流動負債 Δ 2,566
- その他固定負債 Δ 260
- 有利子負債 +3,553
- 純資産 Δ 862



本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。